

令和3年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の名称

施設の名称	小平町宮鬼鹿牧場		所管課名	経済課農林係				
所在地	小平町字鬼鹿元浜、字鬼鹿千松及び字鬼鹿豊浜の386.8ヘクタールの区域		設置年月日	昭和54年9月19日				
施設設置目的	小平町における畜産振興の基盤を確立し、もって農業経営の安定に寄与するため。							
主な施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造成草地 163.4ha (管理除外地 0.845ha を除く)</li> <li>・管理用道路 3,100m</li> <li>・基地 19,672 m<sup>2</sup></li> <li>・看視舎B 1棟 64 m<sup>2</sup></li> <li>・乾草舎 2棟 496.8 m<sup>2</sup></li> <li>・スズキジムニー 1台</li> <li>・雑用水 6,300m</li> <li>・隔障物 鉄柵有刺鉄線一式</li> <li>・特認施設 一式</li> <li>・看視舎D 3棟 37 m<sup>2</sup></li> <li>・堆肥舎 1棟</li> <li>・トラクター 1台 (付属品一式)</li> <li>・牧場用機械 一式</li> <li>・看視舎A 1棟 105 m<sup>2</sup></li> <li>・避難舎 1棟 654 m<sup>2</sup></li> <li>・尿処理施設 1棟</li> </ul>							
指定管理者名	るもい農業協同組合							
選定方式	公募・ <u>非公募</u>		<b>【非公募の理由】</b> ① 当該施設の性格、規模及び機能により公募することが適さないと認められるとき。(規則第6条第1項第1号) ② 公募に対し応募者がいないとき。(規則第6条第1項第2号) ③ 指定管理者の候補者に選定された団体をしてすることが不可能となり、又は著しく不相当と認められる事情が生じたとき。(規則第6条第1項第3号)					
	(特記事項)							
指定開始年度	平成23年度							
指定期間	令和2年4月1日から令和5年3月31日まで(3年間)							
指定管理者の主な業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜の飼養管理に関する業務</li> <li>・使用の承認等に関する業務</li> <li>・施設及び設備等の維持管理に関する業務</li> <li>・草地の維持管理に関する業務</li> </ul>							
利用料金の導入	<u>あり</u> (放牧料・牛舎飼料)・なし							
施設の利用実績	利用区分等		利用実績					
			29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
	放牧	期間	6/1~10/20	6/1~10/20	6/10~10/21	6/9~10/21	6/17~10/18	
		日数	142日	142日	134日	134日	124日	
		頭数	69頭/日	41頭/日	51頭/日	56頭/日	60頭/日	
	舎飼	期間	4/1~3/31	4/1~3/31	4/1~3/31	4/1~3/31	4/1~3/31	
		日数	365日	365日	365日	365日	365日	
頭数		45頭/日	72頭/日	69頭/日	68頭/日	69頭/日		
(特記事項)								
指定管理料	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	0円	0円	0円	0円	0円			
	(特記事項) ・指定管理料について、年度協定書において本業務の実施に要する費用として20万円を限度として予算措置しているが、平成29年度から令和3年度までは黒字経営であったため指定管理料は0円となっている。							
指定管理者職員体制	合計	1人	職員	1人	臨時	人	パート	人
(その他特記事項)								

## 2 町（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づき、その水準が達成されているか町が点検・評価するものです。

### ■評価の基準

優 良：高いレベルで実施されており高く評価できる。

良 好：事業計画書どおりに適切に実施されており、問題は見られない。

普 通：事業計画書どおりに概ね適切に実施されているが、一部不適切な部分が確認されたが改善済みである。

不十分：不適切な部分が確認されたので、改善を要する。

大項目	中項目	評価項目	評価				評価に対する説明
			優 良	良 好	普 通	不 十 分	
管理能力	団体の概要	団体の経営状況はどうか		○			
		当該施設管理運営をサポートする体制はあるか		○			
	適切な管理運営	町の方針、施設の設置目的等を理解した管理はされているか		○			
		町が示す施設運営方針や管理の基準等に適合しているか		○			
		公共の仕事という倫理性や法令遵守を認識し対応しているか		○			
		町や関係団体等と連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか		○			
	町民の平等利用	正当な理由なく一部の町民に利用制限や優遇が行われていないか		○			
		事業内容に偏りがなく、利用者が限られることはないか		○			
	適切な組織・体制	職員体制や配置人員は適切であるか		○			
		現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切か		○			
		労働関係法令を遵守した規定を整備し、職員の適正な労働条件を確保しているか		○			
	職員研修・人材育成	職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか		○			
	経理及び事務処理	会計処理の基準等に基づき適正な事務処理となっているか		○			
		経理帳簿等を整備し、情報公開や監査請求に対処できるか		○			
		必要に応じパソコン等 I T 機器を活用できるか		○			
		施設や設備の保守点検は、必要な基準や仕様を満たしているか		○			
		業務報告や事業報告が適切に作成されているか		○			
	安全管理	安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施はされているか		○			
		施錠、警備体制等は適切であるか		○			
		利用者の安全確保に関する研修を実施し、職員が内容を熟知しているか		○			

	緊急時対応	事故や災害時等緊急時の連絡体制が十分に整備されているか		○			
		避難経路の確保や避難時に支障をきたす障害物はないか		○			
	個人情報保護	個人情報の管理方法においてセキュリティ対策を講じているか		○			
	秘密の保護	職員が業務上知り得た秘密について漏洩防止対策を講じているか		○			
施設の運営	業務内容	業務について処理・対応が適切に行われているか		○			
		管理区域、業務範囲について漏れなく的確に把握されているか		○			
		事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか		○			
		年間の事業量が適切に実行されているか		○			
	業務の第三者委託	業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	-	-	-	-	
		再委託先から適切に業務報告をさせるなど再委託の管理が適切か	-	-	-	-	
	経費節減・業務効率化	経費節減や業務効率化が継続的に行われているか		○			
	備品等の維持管理	引き渡した備品等に過不足はないか		○			
		引き渡した備品等はその機能が失われていないか		○			
	利用の促進	施設の利用促進に努めているか		○			
	利用者サービス	利用者サービスの向上に努めているか		○			
	障害者等への配慮	障害者、子ども、高齢者等に配慮した管理がされているか	-	-	-	-	
	苦情等への対応	利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応しているか		○			
	セルフモニタリング	セルフモニタリングが適切に行われているか		○			
	環境への配慮	省エネ等の環境に配慮と廃棄物処理は適切か		○			
	地域との連携	地域住民等との連携に積極的に取り組んでいるか		○			
	自主事業	サービスの向上かつ収入増に結びついたか	-	-	-	-	
		収支のバランスはとれているか	-	-	-	-	
	特記事項への対応	募集要項における特記事項について考慮されているか	-	-	-	-	
	事業報告書	事業報告書と事業計画書を比較し、収支の過小、過大はないか		○			

### 3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和4年4月1日～令和4年4月11日
	調査対象	施設利用者
	調査方法	聞き取り
調査結果	特に飼養管理面では、高度な管理技術を求める声がある一方、肉牛経営における労働力不足や個人牛舎の飼養スペースの限界等、様々な課題がある中、当該施設を利用し増頭が図られている。	
利用者からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して施設を利用している</li> <li>・牛の管理技術を強化してほしい</li> <li>・施設等が老朽化しているため、作業性が悪いように思える</li> <li>・施設の活用により、増頭している</li> </ul>	

### 4 指定管理者による自己評価

今年度の自己評価	<p>春先には、一部の畜産農家が病症となりましたが、当該施設を活用し引き続き畜産経営を継続していくことができました。</p> <p>本年度の農業は、春先から天候に恵まれ順調に推移しましたが、7月から8月の長期間にかけての猛暑や少雨による干ばつの影響により、放牧地も枯れた裸地となり放牧事業の推進においては、苦慮する年でもありましたが、肉牛生産農家の協力により、放牧・舎飼頭数ともに計画を上回り、安定した施設運営となり、小平町畜産振興並びに畜産経営の安定に寄与してまいりました。</p>
今後の目標	<p>おびら和牛繁殖センターの稼働に伴い、小平町和牛生産改良組合、北海道アクションとも連携した中、最終年となりますが当該施設の指定管理業務を務めさせてまいります。</p>

### 5 町（所管課）による総合評価

放牧・舎飼事業ともに計画を上回るなど総じて良好な運営がなされている。施設利用者の要望を的確に捉えながら、満足度向上に努めていただくほか、これまで同様の良好な運営を期待したい。	総合評価結果			
	優 良	良 好	普 通	不 十 分
		○		